

●中西康太君が3月17日に神戸市で開催された日本生態学会大会の高校生部門でナチュラルヒストリー賞受賞

17日の発表では、発表パネルについて審査員や一般客の質問に答えることが最優先の取組みになりました。とにかく一生懸命にやり切りましたので、配布されている資料や案内文に気を付けることが出来ていませんでした。プログラムには、審査結果の発表時間などが記されていましたが、見落としてしまい、結果を確認できずに会場を後にしました。それぞれ力いっぱい発表できたので、心から満足でした。ところが後日入賞しているということがわかりました。賞状が送付されてきたのです。中学生を含む高校生グループは80人を超える大規模だったのです。去年は10数人の表彰だったそうです。今年の発表者のうち中西康太君がその枠に評価されたのです。全国大会で入賞は発表内容と発表姿勢、調査への理解、後日への期待と可能性が高く評価されたことです。本当に素晴らしい名誉なことです。しかも初参加でまったく未経験者で想像を超えるプレッシャーがあつて緊張感に包まれての発表だったと思います。そして審査員や一般者からの質問は、意地悪で難しいものです。たとえばカスミサンショウウオに関する質問では「池の水が無くなる事か、アライグマが出る事か どちらの方の対策が必要だと思うか」、「外来生物が原因ではなく、人的行動による絶滅という可能性はないか」、「外来対策以外の対策は考えられないか」?といったものだったようです。

いずれにしても康太君は適切に説明ができましたので、高い評価を得たものだと思います。彼の発表準備にお付き合いいただいた皆様に心からお礼を申し上げます。里山の会として中西康太君が発表の機会を得たことは、日ごろの活動への参加が基礎になって、間違いのない活動の証だと自信を得ることになりました。

●木津川希少種植生調査管理業務の完成届けの検査が26日(火)午後1時 淀川河川事務所で行われ承認される

これは契約書に基づき実施計画を提出し、計画に従って、調査活動では希少種の生育確認について結果を図表化、実施計画に従って、除草作業を実行して、希少種の管理を行った資料一式約90頁の紙データとCDの提出になるものです。中でも河川地図に希少種の生育地を落とし込むことに大変苦勞をしました。去年は駆けつけ作業だったので木津川事務所や淀川事務所の皆さんに支えていただいていたので報告書提出でした。今回は丸1年間を通した成果物の提出だったので、整理は大変でしたが、何とか正確に処理が出来て、スムーズに承認が得られました。報告書提出には有田さんや播川さんをご同行いただき心強いものがありました。有難うございました。

●第12回親子花見乗船体験が31日(水)に迫る中、27日(水)取組み準備の中で最大難関工事がEゴート乗降場・カヌー乗降場の設置工事が完成さしました

午前中の定例事務局会議に引き続き、7人(森島 太田 金田 深田 播川 大村)さんが力を合わせていただきました。先にお知らせしましたが、これまでともに取り組んできた田辺府営団地連合自治会が組織として諸事情から参加できなくなりました。受け持っていたいてきた乗降場の設置をお願いできなくなり、里山の会のみ組み立になりました。ほとんどの皆さんが責任をもって組上げた経験がなく、今回が初作業なので、完成出来るだ

ろうかと気をもみました。心配もそこそこに集合時間の1時には7人もの皆さんが集まっていたいただき、不安半分で作業を始めました。設計図もなくこうすればいいのだろうという気持ちで始めました。材料の単管の長短も数量もわかりませんので、材料置き場からの運び出しでは、必要数が不明なので、目分量で積み込みました。とにかく階段の設置と乗降場の二つ作業で、前半は階段から組みました。これが出来上がると全体のイメージが描くことが可能になって。各人が行う作業がどの部分にあたるのかと次第に明確になります。階段が出来て手すりを作りいよいよ最も難関の乗降場です。馬坂川には昨日から貯水が始まって計画推移になっているので、足場杭の設置には胴長靴を使わないといけなく、森島さんが胴長靴を装着いただきました。水際からの作業によって、随分と作業軽減が出来てスピードアップが出来ました。試行錯誤しながら、経験をしました。そして次にカヌーの乗降場を2回目の作業として行いました。中途半端ですが、何とか1回目の製作で得たノウハウを生かすことができるので、こちらは手際よく短時間で完成できました。これまでは1日かかりの作業だったそうですが、里山のメンバーのチーム力はすごいもので、午後1時から運び込みから始めて4時過ぎには完成になりました。慣れない初作業でしたが立派に出来上がったと思います。

刈り取った雑草が川面に浮き上がり、買い物袋などのゴミが広がっていましたが、作業を始めた午後には南風が吹いてくれて、吹き流されてきれいな川面に変わっていました。川底に散乱しているごみを拾い集める予定でしたが空き缶やペットボトル等ゴミは川底に沈んでしまいました。

期待している桜の開花宣言は28日にされましたので、順調だと開花から5日ぐらいが満開なので、当日には7~8分咲きということでしょうか。

●3月の花散策が22日(金)に行われ、10人が参加しました

最も期待していたアマナの開花は曇り空だったので、開いた花は少ししか見られませんでした。しかしあちこちにしっかり花はあり、あとは日差しが差すときれいな開花となります。タコノアシの生育地はすっかり水気が無くなり干しがっていましたので、枯れた状態でした。小さな芽しか確認できませんでした。来年の生育は難しいと思われます。

昼食は気温が低く、さくらであい館を利用しました。

次にイヌナズナはアマナに負けずと小さな可愛い花をつけていました。